

会 議 録

会 議 名	八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 子どもにやさしいまちづくり部会 平成29年度 第1回会議	
日 時	平成29年5月24日(水) 午後4時50分～6時00分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 801会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁部会長、中込順子副部会長、石田健太郎委員、岡崎理香委員、後藤高浩委員、立石晴美委員、田中伸幸委員、(部会長、副部会長、以下五十音順)
	関連所管	
	事務局	中正子どものしあわせ課長、大澤課長補佐、後藤主査、田中主査、井垣主査 他
欠席者氏名	荒井容子委員	
議 題	報告 1 市制100周年記念ビジョンフォーラムの取組について 2 地域子ども支援事業について 議事 1 子どもにやさしいまちづくりについて	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	0名	
配付資料名	別紙のとおり	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成29年11月14日 後藤高浩	

配付資料

市制 100 周年記念事業ビジョンフォーラム「子どもミライフォーラム・明日へつなく」
の取組について

地域子ども支援事業について

子供の生活実態調査【小中学校生等調査】結果の概要<中間のまとめ>

子供の生活実態調査【若者（青少年）調査】結果の概要<中間のまとめ>

【中正子どものしあわせ課長】それでは、まず、本日の報告事項でありますフォーラムについて、条例設定に向けたアンケートに関しまして報告させていただきます。

(「市制 100 周年記念事業ビジョンフォーラム「子どもミライフォーラム・明日へつなぐ」の取組について」について説明)

(「子供の生活実態調査【小中学校生等調査】結果の概要<中間のまとめ>」について説明)

(「子供の生活実態調査【若者(青少年)調査】結果の概要<中間のまとめ>」について説明)

子どもにやさしいまちづくり条例策定に係るアンケートについては、市の他の部署でも子どもを対象に生活の実態調査を実施することとなりまして、一旦中止としたことを報告させていただきます。

【井上部会長】3月の部会以降、変化があったことについて報告をしていただきました。私共は、居場所、未来のまちづくりに関して全小・中学校にアンケートを実施したいと考えてきましたが、別に小・中学生の生活実態調査を行うことになったとのこと。生活実態調査は、貧困に関する分析のための調査であって、遊び場や居場所づくりなどにつながっていきません。質問項目の追加もしてくれないようです。ここをどうするか。

そして、予定していたアンケートができないとなると、ミライフォーラムで何をどう提言していくのか、という大枠が崩れてきます。しかし、できれば何らかの形で大勢の子どもたちの意見を吸い上げたい。数年前に実施した子どもたち自身の力でやるようなアンケート形式にするか。それにしても夏休み中に調査しないと集計が間に合いませんので、急がないといけません。

皆さんのご意見はいかがでしょうか。

アンケートの予算はとってあるのですか。

【中正子どものしあわせ課長】とってあります。

【井上部会長】なら、子どもたち自身がやったアンケートの集計くらいはできますね。

【中正子どものしあわせ課長】予算が使えるかどうかは、フォーラムにどういう形で意見を出していくかにもよると思います。

【井上部会長】アンケートがすべてではないと思いますが、児童館で意見を集めるにしても、偏りが生じます。貧困に関する調査は、行政としての使用価値はあっても、未来のまちづくりについての子どもの意見表明には使えません。生活実態調査は、小学5年生と中学2年生ですね。学年を変えたらどうですか。学校にとっては迷惑でしょうか。

【中込副部長】同時期に色々な学年に違うアンケートを実施するのは少し変な感じがし

ます。やらなければならないものはやりますが、この時期は学校でも様々なアンケートをしている頃で、何の時間を使って行うかは、悩むかもしれません。

【中正子どものしあわせ課長】児童館に偏りがあるとのことでしたが、今回、広報で子ども委員を公募しております。

【井上部会長】アンケートを児童館で取るとなると偏ってしまいます。そんなに遠くから子どもは来ないと思います。前は児童館でも多くの数が確保できていましたがどうしてですか。

【事務局】前は児童館のない地域にも出向いて取りに行きました。今回はそこまで行くことは考えておりません。

【井上部会長】全市の子どもがベースにないといけないと思います。

【中正子どものしあわせ課長】いずれにしても、来年、子ども育成計画策定のための子どもを対象にしたアンケートを実施する予定です。

【井上部会長】そうすると、代わりにどうするかです。子ども企画委員だけでは市全体とはいえないと思います。100周年で学校を動かしていますから、学校もこれ以上の協力は難しいかもしれません。

【岡崎委員】子ども企画委員だけの意見になってしまっはいけません。やはりベースとなるアンケートは必要だと思います。

【井上部会長】アンケートが子どもの未来宣言、子ども条例に結びつくのが本来の道筋でした。

【岡崎委員】2月のフォーラムで子ども未来宣言を公表するのであれば、市内数か所を中継で結び、意見を言ってもらうことができれば、見せ方としては一つの形になると思います。

【井上部会長】中高生が夜集まって打ち合わせできるような場所は、児童館くらいしかないのでしょうか。

【事務局】8つのビジョンフォーラムでは、各地域の中学生が意見を出し合う形を採っています。そこで出た意見は、ミライ会議の子ども企画委員につながる仕組みになっています。子ども企画委員は、さらに児童館で実施したアンケート結果ももらって、様々な意見を把握することになっています。

【井上部会長】それでも、このテーマはこの地域、と割り振られている現状では、偏りはありますね。

児童館で行うアンケートに加え、児童館の空白地域にも出向いて聞いてみて、補完するというのもいいかもしれません。また、学校に配布だけしてもらい、回収は郵送で市に送ってもらう形にすれば、学校の負担も軽くて済みます。

【事務局】もうすでに学校にいろいろな協力要請をしていますので、お願いしにくい感じがします。

【中込副部長】100周年にあたり、小・中学校では、28年度は絵画コンテストに協力しました。29年度は調べ学習コンクールがあります。これから先生が子どもたちに調べるテーマを投げかけて、夏にかけて八王子のことをいろいろ調べることになります。さらに、「私が思う20年後の八王子」というテーマで小・中学生作文コンテストをすること、協力依頼がありました。

【中正子どものしあわせ課長】今年は100周年ということで、子どもに色々なことをやってもらう状況になっています。

【事務局】時間的な制約もあり、どこまでできるかわかりませんが、作文から得られる意見も含め、できるだけいろいろな場面から出てきた意見をフォーラムにつなげたいと思っています。

【井上部会長】そうであれば、あとは児童館プラス空白地域でのアンケートでほぼ網羅しているとみなせるかもしれません。あと、子ども企画委員会で話し合いをしてもらって。

当日のシンポジウムには何人くらいの子供が登壇する予定ですか。

【事務局】どのくらいの人数の子どもにどのタイミングで登壇してもらうとか、いろいろな案が出ていますが、まだ決まっていません。

【井上部会長】時間配分が気になります。子どもが意見を言って大人が受け止める時間を十分に取ってください。ミライフォーラムがただのイベントで、子どもを使っているだけだというのは困ります。子どもをピエロにしてしまっははいけません。そうなるくらいならやらないほうがいいくらいです。

【中正子どものしあわせ課長】その点はしっかり踏まえて調整していきたいと思います。

【石田委員】ミライフォーラムを子ども条例づくりのきっかけにすることはできないのかな、と思いました。

【井上部会長】子ども企画委員のサポートをする学生リーダーに我々の意見を伝えたほうがいいです。後日、学生リーダーが集まる日を教えてください。

【事務局】はい。

【井上部会長】さて、次回の部会開催ですが、分科会が7月に予定されていますが、部会だけ6月に開催しないと間に合わないと思います。6月の開催日は、事務局と調整して決めて、皆様にお知らせします。

アンケートの集計はどうしますか。単純集計のほか、クロス集計をして分析することが必要です。

【事務局】集計は、各児童館でできる範ちゅうでしか予定しておりません。

【井上部会長】業者に委託すれば早いでしょうが、大学生を使うとすると、時期が悪いです。ご検討ください。

では、本日はこれで終了します。